

(Japanese Academy of Learning Disabilities)

**日本LD研究会会報 創刊号**

事務局：長瀬総合療育研究所内 〒164 東京都中野区東中野5-5-10 R.H.S2F  
TEL & FAX. 03-3360-1855

**日本LD研究会の発足に思う**

日本LD研究会会長代行

**長瀬又男**

1990年2月に開かれました「学習障害(LD)児の教育を考えるシンポジウム」(国際治療教育研究所企画、読売新聞社主催)が契機となって、全国親の会が発足する一方、LD児教育の実践者、LDの研究や臨床に携わる者たちが情報交換をする場が欲しいという気運が高まってきました。そこで、翌年7月「LD教育研究会」(仮称)準備委員会を組織して、読売新聞社と共催で「これからのLD児教育を考える集い」を開き、さらに、研究会設立の趣意に賛同された専門家の方々による発起人会を頻回に開いて参り、名称を「日本LD研究会」と定め、来る11月22日～23日上智大学(東京、四谷)で設立総会および第1回大会を開くことが決まりました。

既に、発達や教育にかかわりのある諸種の学会でLDのセッションあるいはシンポジウムなどが組まれており、また、いくつかの地域で研究会や懇話会が始められています。そこにあえて本研究会を作りますのは、能力がありながら学校の授業に適応できず、あげくには自信を喪失する子ども

たちを、一日も早く救うために、皆さまのお知恵を結集したいからであります。

ひとりひとりが違って当たり前、というのがLD児教育の基本的な考え方であり、その違いを見つけてその子その子の精一杯の発達を助けるのが、子どもを取り巻く教師や関連専門職の仕事だと思うのです。その役割を果たすためにはお互いに勉強し合わなければなりません。生きている子どもをいろいろな側面から正しく診断し評価する方法を組み立てなければなりません。新しく効果的な教育法を考案したら知らせ合います。私どもの研究会はこのような場でありたい、と思います。

子どもたちそれぞれに違いがあるように、会員もそれぞれに考えが違うことがありましよう。そのようなことも、己れを誇るためではなく主張すべきは主張し、フランクに議論を深め、子どもたちのために謙虚に学び合いたいものです。

日本の教育はとかく画一的になりがちです。真の教育を皆さんとともに築くために、奮ってのご参加をお待ち申し上げます。